

幼稚園教育, 生活科における子ども相互の学びをつなぐ支援の在り方  
一子ども相互が発するオノマトペなどの言葉に目を向けて一

## 第1学年A組 生活科学習指導案

### 1. 単元名 「ぐんぐんそだて, きれいになあれ, あさがおさん」

### 2. 指導観

#### 【こんな子どもだから】

- 子ども達は, 5月にさいてほしい花の色のアサガオの種を自己決定して育ててきた。きれいなあさがおがさいてほしいという願いを持ち, 毎日水やりを続けている。毎朝のあさがおの健康観察を通して, アサガオへの興味関心を持ち続けさせ, 気付きの紹介の場となった。そして, 芽, 双葉, 本葉, つるの様子, うまく育たない悩みなどを交流してきた。夏休みには, 枯れないようにお世話するにはどうしたらいいか話し合い, 保護者にも協力をよびかけていた。子ども達は, 自分のアサガオがもっときれいにさいてほしい, アサガオで色水遊びや種を取りたいなどの願いをもって栽培活動を続けているところである。

#### 【こんな教材で】

- アサガオは, 育てやすく生長を観察したり, 花の色遊び, リース作りや種とりを通して, 季節を感じながらあさがおと楽しんだり, 継続して世話ができた自分の頑張りに気付くとともに, 植物の一生や生命を感じることができる教材である。
- アサガオに水やりをしたり, 肥料をやったりして世話をする中で, 葉や花の大きさ, 形, 色, 手触りから, 特徴づけたり, 友達と比べたりして, あさがおの生長の過程に気付かせたい。
- また, しばんだ花をふくらませて遊んだり色遊びやたたきぞめ, リース作りを通して季節を感じる遊びもすることができる。このように, アサガオは植物の生長や変化, 不思議な性質やおもしろさに気付き, 交流を通してその気付きを深めることができる適した教材である。

#### 【こんなこどもに】

- 継続した世話を通して, アサガオの生長や変化や生命をもっていること, 楽しみ方や育てることができた自分への頑張りに気付く子ども

#### 【こんな方法で】

- 活動作りの工夫
- ・ 願いを持たせるために, 咲いてほしい色の花の種を選ばせる自己決定の場を設ける。
  - ・ 主体的に栽培活動ができるように, 悩みを出し合い, 鉢の置き場所, 水受け, 肥料, 雑草をどうするか話し合いを通して問題解決を図る。
  - ・ 観察や遊びをした後の交流を通して, 生長の変化やアサガオ遊びのおもしろさに気付かせる。
- 学びをつなぐ支援
- 見とる ・ 触った感じ, 見た様子, 色の変化, 形の特徴などをとらえた言葉に着目して気付きを見取る
- 共感する ・ 栽培活動や積極的に遊んでいることに共感し, 次の意欲と方向性を持たせる。
- 価値付ける ・ 「○○君はあなたが～と言ったから, よく分かると言ってくれたね」と子ども同士を価値付ける
- ・ 子ども同士を認めたり, 助け合うような共感的な言葉を賞賛する。

## 3. 単元の目標

- 自分が育てるアサガオの種類を決め、主体的にかかわり、世話を続けることができる。  
【生活への関心・意欲・態度】
- 植物の生長に応じた世話や遊びを考え、自分の方法で表現することができる。  
【活動や体験についての思考・表現】
- アサガオの生長や変化や生命をもっていること、楽しみ方や育てることができた自分の頑張りや友達と遊ぶ楽しさに気付くことができる。  
【身近な環境や自分自身への気付き】

## 4. 単元計画 (全13時間)

段階	学習活動と内容	教師の支援	期待できる言葉
であう②	アサガオの種を植えよう (2) ○どのアサガオを育てようかな① ○種を植えよう①	○ 3種類(ピンク, 水色, しま)の花の咲いた写真を見せ, 咲かせたい花への願いを持たせる。  ○ 種を詳しく観察させ, 色, しわ, 穴などに着目させる。	○ 願い 「きれいになあれ」 「ぐんぐんそだて」
さぐる⑧	ぐんぐん育て (8) ○世話を続けよう⑤ ・芽が出たよ ・双葉をよく見よう ・本葉をよく見よう ・つるがでてきたよ ・悩みを解決しよう ・花が咲いたよ  ○あさがおであそぼう③ ・しおれた花をどうしたらいいかな ・あさがおあそびをしよう ・・・本時 小単元2 / 3	○ 2年生と一緒に種を植えることによって, 世話の仕方を考えさせる。  ○ 生長の節目ごとに, 裏と表の違いや色の変わり方などを観察させ, 交流を通して気付きを広げる。  ○ 夏休み後にどんなことをしたかを出し合い, 夏休みの世話の仕方考えさせる。  ○ しぼんだ花で何をしたいか願いを出すことによって, 色遊びを広げる。	○ 双葉の様子 「ハートの形」 「ちょうちょみたい」 「つるつる」 ○ 本葉の様子 「裏はざらざら」 「ひげみたいな毛」 「茎がだんだん紫色」 「線がいっぱい」 ○ 悩み 「土がべちょべちょ」 「葉っぱがぼこぼこ」 ○ 色遊び 「べちょべちょ」「べたっ」「つーん」「ぶどうジュースだ」
ふかめる③	ありがとう, あさがおさん③ ・生長をふりかえろう ・あさがおのおもいでをのこそう リース作り アルバム作り	○ ここまで大きくなったわけを考えさせ, 自分の世話を振り返る。  ○ 青い種の皮をむき, すでに双葉や根のものが次の準備をしていることに気付かせる。  ○ リース作りを楽しむことによって, つるの長さや強さ, 楽しみ方に気付かせる。	「毎日世話をした私ってすごいな」 「あさがおも自分もぐんぐん育った」 「命のものがあつた」 「おじいちゃんが赤ちゃんをもっている」 「どんどん続く」 「ロープみたい」 「くるくる」 「ぐるぐる」

## 5. 小単元名「あさがおであそぼう」

### 6. 本時

平成17年9月14日(水) 第5校時

### 7. 本時の目標

あさがおの花や葉の遊びを通して、花で遊ぶ楽しさや色の出方などのおもしろさに気付く。

### 8. 本時指導の考え方

子ども達は、前時までにしぼんだ花を見て、「このしぼんだ花を捨てないで残したい」「何かできないかな」という願いから、「ふうせん遊びをしたことがあるよ」「色水遊びを幼稚園の時にしたことがあるよ」など経験を出し合った。そこで、みんなで、外に出てふうせん遊びを楽しんだ。ふうせん遊びでは、いろいろなふくらみ方やわれる音がおもしろく友達と楽しんだ。

もっと他の遊びもしたいという願いから、前時では、色遊びやたたきぞめがあることを知り、やりたい遊びことを一人一人決め、遊びに必要なものも自分で準備している。

本時は、あさがおの花や葉を使った遊びを通して、いろいろな遊び方を子ども達同士教え合ったり、色の出方などのおもしろさを感じ、素直に表現する時間である。

気付きを共有されやすくするために前時から決めていた押し花、色水遊び、たたきぞめ、セロテープや木工用接着剤で花や葉をそのまま残すなどの遊び別のグループになって、それぞれ遊びを十分に楽しませる。その際に、遊び方や疑問に対する気付きを言葉で表現しやすくするために、材料をさわった感じ、におい、紙につけた感じ、色の出方など思ったことや気付いたことを口に出してみることを促しておく。

教師は、子ども達から出た気付きの言葉を期間巡視をしながら見取っていく。そして、「さわった感じがよくわかるね」「このアイデアすごいね」と共感し次への意欲と方向性を導いていく。また、「あなたが～と言ったことで、〇〇君もできたよ」と子ども同士を価値付ける。言葉が出にくい子には、「どうしてこう思ったの」と問いかけてたりることによって、気付きの言葉を引き出していきたい。

今日のふり返りでは、気づいたこと(おもしろいな、不思議だな)と友だちコーナー(友だちから言われたこと、友だちのすごいところ、教えたこと。教えてもらったことなど)と次したいことをカードに書かせていく。

最後の交流では、どんな遊びを考えて、どんなことに気付いたかを交流することによって、気付きをみんなのものとしたい。

#### 予想されるオノマトペなどの言葉

材料をさわった感じ (触覚, 聴覚)	紙につけた感じ (触覚, 聴覚)	色 (視覚)	共感的な言葉
(花) ・ねちょねちょ ・べちょべちょ ・ドローン ・べとべと	(手の感覚) ・ねちょねちょ ・べちょべちょ ・すべすべ ・そのまま  (紙) ・かさかさ ・しっとり	・だんだんうすく ・赤からピンクに ・紫色のぶどう ・きらきらしたブドウジュース ・赤いさつまいも ・後ろが見えそうなブドウジュース ・ボンドで真っ白になったけど、透明になるのかな ・～の方が濃いよ	貸してあげるよ ここはこうするんだよ いっしょにしよう ここ持ってて このやり方教えて 〇〇さん、すごいね よくわかったよ

## 9. 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援
<p>1. 本時のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて _____</p> <p>たのしいあさがおあそびを考えて遊ぼう</p> </div> <p>「楽しいあさがお遊び」とはどうすることか子どもの願いから考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいにあさがおを残したいな</li> <li>・たくさんジュースを作りたいな</li> <li>・どんな色が出るか楽しみだな</li> <li>・遊びのアイデアを出そう</li> </ul> <p>2. あさがおあそびをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ループ</li> <li>・色水実験</li> <li>・色水お店屋さん</li> <li>・色水で絵をかく（吹き絵, 筆で）</li> <li>・色絵（しぼんだあさがおの花で）</li> <li>・たたきぞめ</li> <li>・あさがおはり（セロテープで）</li> <li>・あさがお固め（木工用接着剤で）</li> </ul> <p>3. 今日の振り返りを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気付いたこと （おもしろいな, 不思議だなと思ったこと）</li> <li>・友達コーナー 友達から言われたよ！ 教えたよ！ 教えてもらったよ</li> <li>・継ぎしたいこと</li> </ul> <p>4. できたものを見せ合って, 気付いたことを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな遊びを考えて, どんなことに気付いたかを交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊びの時間を十分取るために, 前時までに, 遊び別のグループを作っておく。</li> <li>○ 「楽しいあさがお遊び」中身を, 前時の子ども達のやりたいことの願いからひろい, 本時の願いを明確にさせる。</li> <li>○ 遊び方のイメージを持たせるために, 先生が作ったものを掲示しておく。</li> <li>○ 活動時間を保障するために, 色遊びやたたきぞめのやり方は, 事前に指導しておく。</li> <li>○ 色遊びグループには, レモン, 石けんを用意しておいて, 色遊びに広がりを持たせる。</li> <li>○ 気付いた言葉が出やすくするために, 材料をさわった感じ, におい, 紙につけた感じ, 色の変化など視点を持たせておく。</li> <li>○ 気付きを出すために どんなことをして どうなったか どう思ったか _____ を書く</li> </ul>